

コンフィギュレーション

- ・設定について (1ページ)
- •イベント設定の構成 (2ページ)
- ・全般設定の設定:インスタンスの編集(4ページ)
- 全般設定の設定:インスタンスの追加 (6ページ)
- •電子メールの宛先の設定(10ページ)
- ・ウェブフックの宛先の設定(13ページ)
- Syslog サーバの宛先の設定 (15ページ)

設定について

Cisco DNA Center プラットフォーム が提供する [Configurations] を使用すると、次のオプションにより、カスタマイズされたネットワーク エクスペリエンスを設定できます。

- [Event Settings]: Cisco DNA Center プラットフォームは、ネットワーク内で発生する特定の Cisco DNA アシュアランス イベント(またはインシデント)をサポートします。これは、Cisco DNA Center プラットフォームがこれらのイベントを認識できることを意味します。また、設定により、それらのイベントを Cisco DNA Center がレポートするタイプ、カテゴリ、および重大度をカスタマイズできます。この情報を GUI で設定することにより、Cisco DNA Center が ServiceNow などの外部システム(または、多くの場合、ユーザが設定できる1つ以上の REST エンドポイント)に送信する情報をカスタマイズすることもできます。
- •[General Settings]:1つまたは複数のバンドル内の REST および ITSM エンドポイントイン スタンスを追加または編集できます。



 (注) 電子メールイベント通知も設定できるようになりました。電子メールイベント通知の設定は、 [Settings] で行います。[Menu] アイコン (三) をクリックし、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順に選択して、電子メールイベント通知を設定する GUI に アクセスしてください。

イベント設定の構成

ネットワーク内で発生する可能性があるプリセット番号の問題(またはイベント)が、 [Configurations] ウィンドウの [Event Settings] にあります。これらのイベントのタイプ、カテゴ リ、重大度、およびワークフローを設定できます。

_ Y
-

(注)

[Event Settings] ウィンドウの機能は、ITSM(ServiceNow)の統合にのみ適用され、一般的なイベント通知には適用されません。Cisco DNA Center と ServiceNow の間の ITSM 統合を設定する 一連のより大きな手順におけるこの手順の使用方法のガイダンスについては、『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。このウィンドウの上部のテキストに表示 されるリンク([here])をクリックすると、プラットフォームの [Events] ウィンドウにアクセ スし、イベントを登録して電子メール、ウェブフック(REST API)、または SNMP トラップ で通知を受け取ることができます。

図 1: [Event Settings] ウィンドウ

Eisco DNA Center	Platform - Manage						Q () C	
Bundles Configurations								
Configurations								
Set global settings or across multiple bundles for	a custom platform experience.							
Event Settings	Event Settings							
General Settings	These event settings are only applicable for the I	SM integration use case. For w	ebhook/other destination	s, please click here.				
	Filter 0 Selected						EQ Find	
	Event Name 🔺	Domain	Туре	Category	Severity	Workflow	Actions	
	AP Coverage Hole	Know Your Network	NETWORK	WARN	3	Incident	Edit	
	AP CPU High Utilization	Know Your Network	NETWORK	WARN	3	Incident	Edit	
	AP License Exhausted on WLC	Know Your Network	NETWORK	WARN	3	Incident	Edit	
	AP Memory High Utilization	Know Your Network	NETWORK	WARN	3	Incident	Edit	
	AP Reboot Crash	Know Your Network	NETWORK	WARN	3	Incident	Edit	
	Shravina 72 of 72							

始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最 新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラット フォーム向けロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。

- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、バンドル機能を参照してください。
- ステップ1 [Platform]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (三) をクリックして選択します。 > [Manage] > [Configurations] > [Event Settings]。
- ステップ2 表示される [Event Settings] テーブルを確認します。

次の [Event Settings] 情報が表示されます。

- [Event Name]: Cisco DNA Center イベントの名前。
- [Domain] : Cisco DNA Center イベントのドメイン。
- •[Type]:イベントのネットワーク、アプリケーション、システム、セキュリティ、または統合のタイ プ。
- ・[Category]:エラー、警告、情報、アラート、タスクの進捗状況、タスクの完了。
- [Severity] : $1 5_{\circ}$
 - (注) 重大度1が最も優先順位が高く、最も重要または重大なイベントに割り当てます。
- [Workflow]: インシデント、問題、イベント、または RFC。
- [Actions]: 編集。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、 テーブルに表示される内容を調整することができます。たとえば、すべてのアクセスポイントの通知を表 示するには、[Find] フィールドに「AP」と入力します。すべてのネットワーク通知を表示するには、[Find] フィールドに「Network」と入力します。重大度1のすべての通知を表示するには、[Find] フィールドに 「1」と入力します。

その通知をネットワークの標準の表記法に合わせてカスタマイズするように、イベントを編集できます。

ステップ3 [Actions] カラムの [Edit] をクリックして、イベントを編集します。

下向き矢印をクリックして設定を選択し、値を調整します。たとえば、[Network] をクリックして、[App] に調整します。これにより、イベントタイプはネットワークタイプからアプリケーションタイプに変更されます。[Severity] をクリックし、「5」から「1」に調整します。これにより、重大度レベルが5から1に上がります。

- ステップ4 イベント名の横にあるボックスをクリックして、通知を有効にします。 これにより、将来イベントが発生した場合、Cisco DNA Center により通知が有効になります。
- **ステップ5** [Save] をクリックして設定を保存します。

次のタスク

• Cisco DNA Center のホームページで、[Menu]アイコン (三) > [Platform]> [Runtime Dashboard] の順にクリックします。

[Events Summary] フィールドにイベントの通知が表示されます。

• [View Details] をクリックして通知を表示します。

全般設定の設定:インスタンスの編集

[Configurations] を使用して、1 つまたは複数のバンドル内のインスタンスを編集できます。

図 2: Cisco DNA Center プラットフォーム [Configurations] ウィンドウ

■ Cisco DNA Center	Platform				
Manage Bundles Configurations					
Configurations Set global settings or across multiple bundles	for a custom platform experience.				
Event Settings	General Settings				
General Settings	∑ Filter				
	Name 🔺	Description	Instances	Usage	Actions
	Destination to receive events (v1)	This is used to specify the type of destination in ServiceNow to receive the events.	0	0 Bundles	\oplus Add Instance
	Rest Endpoint for Publishing Event (v1)	This is used to specify the connection settings to a REST endpoint instance	0	0 Bundles	⊕ Add Instance
	ServiceNow Access Settings (v1)	This is used to specify the connection settings to a ServiceNow instance	0	0 Bundles	① Add Instance
	Set Operational Limit and Source Identifier for ServiceNow (v1)	This setting is used to provide the details required to synchronise the inventory details between	0	0 Bundles	\oplus Add Instance

始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最 新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラット フォーム向けロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。
- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、バンドル機能を参照してください。

- ステップ1 [Platform] > [Manage] > [Configurations] > [General Settings]。Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (≡) をクリックして選択します。
- ステップ2 表示される [General Settings] テーブルを確認します。
 - 次の [General Settings] 情報が表示されます。
 - [Name]: インスタンスの名前とバージョン。
 - [Description]: インスタンスに含まれる設定の説明。
 - •[Instances]:現在設定されているインスタンスの数。
 - •[Usage]:1つまたは複数のインスタンスが使用されるバンドルの数。
 - ・[Actions]:設定で実行可能な特定のタスク(設定のためのインスタンスの編集または追加など)。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、 テーブルに表示される内容を調整することができます。

- ステップ3 表示されたいずれかのインスタンスの矢印をクリックします。たとえば、[CMDB Synchronization Settings (v1)]、[ServiceNow Access Setting (v1)]、または [Destination to Receive Events (v1)]の矢印をクリックします。
 設定のインスタンスの一覧が表示されます。
- ステップ4 [Usage] 列で、[Bundles] の上にマウスポインタを重ねます。

Cisco DNA Center には、指定されたインスタンスを使用するバンドルが表示されます。

ステップ5 [Actions] カラムの [Edit] アイコン(「パッドとペン」アイコン)をクリックし、既存のインスタンスを編 集します。

以降の手順で、要件に合わせて適切なインスタンスを編集します。

- **ステップ6** (オプション) [CMDB Synchronization Settings] インスタンスの CMDB の同期の詳細を編集するには、[Edit] > [Actions] の順にクリックし、表示されるslide-in paneで次のインスタンスフィールドを編集します。
 - [Select Destination]: インスタンス名、説明、検索ソース、宛先ドメイン、宛先 URL、ユーザ名、およびパスワードを入力します。[Next]をクリックする前に、[Check connectivity]をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。
 - [Select Inventory Data Fields]: 同期するインベントリデータフィールドを選択し、データフィールドが 属性であるか参照であるかを選択します。
 - •[Update Transforms]: デバイスファミリに対して CI クラスを承認または更新します。
 - [Set Source Identifier and Operational Limit]: 検索ソースと上限を設定します。
- ステップ7 (オプション) [Destination to receive events] インスタンスを編集するには、[Edit] > [Actions] の順にクリックし、slide-in paneで次の1つ以上のインスタンスフィールドを編集します。
 - [Instance Name]: インスタンスの名前。

• [Description]: インスタンスの説明。

• [Destination to Receive Events]: [Event Management] または [REST API Endpoint] を選択します。

[Event Management] は、ServiceNow で提供されるイベント管理プラグインを使用する場合に選択する オプションです。Cisco DNA Center と ServiceNow の統合の詳細については、このリリースの『*Cisco* DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

- **ステップ8** (オプション) [ServiceNow Access Settings] インスタンスを編集するには、[Edit]>[Actions] の順にクリッ クし、slide-in paneで次のインスタンスフィールドを編集します。
 - [Instance Name]: インスタンスの名前。
 - [Description]: インスタンスの説明。
 - [Host name (ServiceNow)]: ServiceNow のホスト名。
 - •[Username]: ServiceNowのアクセスに使用するユーザ名。
 - [Password]: ServiceNowのアクセスに使用するパスワード。

[Update] をクリックする前に、[Check connectivity] をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバ への接続を確認してください。

ステップ9 [Update] をクリックして編集したものをインスタンスに保存します。

インスタンスへの編集は即座に実行されます。

全般設定の設定:インスタンスの追加

[Configurations] を使用して、1 つまたは複数のバンドル内にインスタンスを追加できます。

■ Cisco DNA Center		Platform				
Manage Bundles Configurations						
Configurations Set global settings or across multi	ple bundles for a custom platform experience.					
Event Settings	General Settings					
General Settings	√ Filter					
	Name 🔺	Description	Instances	Usage	Actions	
	Destination to receive events (v1)	This is used to specify the type of destination in ServiceNow to receive the events.	0	0 Bundles	Add Instance	
	Rest Endpoint for Publishing Event (v1)	This is used to specify the connection settings to a REST endpoint instance	0	0 Bundles	\oplus Add Instance	
	ServiceNow Access Settings (v1)	This is used to specify the connection settings to a ServiceNow instance	0	0 Bundles	\oplus Add Instance	
	Set Operational Limit and Source Identifier for ServiceNow (v1)	This setting is used to provide the details required to synchronise the inventory details between	0	0 Bundles	\oplus Add Instance	

図 3: Cisco DNA Center プラットフォーム [Configuration] ウィンドウ

始める前に

- Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最 新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。
- この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラット フォーム向けロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。
- [Bundles] でネットワークのバンドルを有効化、設定、アクティベートします。[Bundles] の詳細については、バンドル機能を参照してください。
- ステップ1 [Platform] > [Manage] > [Configurations] > [General Settings]。Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (≡) をクリックして選択します。
- ステップ2 表示される [General Settings] テーブルを確認します。

次の [General Settings] 情報が表示されます。

- [Name]: インスタンスの名前とバージョン。
- [Description]: インスタンスに含まれる設定の説明。
- •[Instances]:設定のインスタンスの数。
- •[Usage]:1つまたは複数のインスタンスが使用されるバンドルの数。
- [Actions]:設定で実行可能な特定のタスク(設定のためのインスタンスの編集または追加など)。

[Filter]アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find]フィールドにキーワードを入力することで、 テーブルに表示される内容を調整することができます。

- **ステップ3** 表示されたいずれかのインスタンスの矢印をクリックします。たとえば、[CMDB Synchronization Settings (v1)]、[ServiceNow Access Setting (v1)]、または [Destination to Receive Events (v1)] の矢印をクリックします。 設定のインスタンスの一覧が表示されます。
- ステップ4 [Usage] 列で、[Bundles] の上にマウス ポインタを重ねます。 Cisco DNA Center には、指定されたインスタンスを使用するバンドルが表示されます。
- ステップ5 インスタンスを追加するには、[Actions] 列の [Add Instances] リンクをクリックします。 以降の手順で、要件に合わせて適切なインスタンスを追加します。
- **ステップ6** (オプション) [CMDB Synchronization Settings] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] をクリックし、表示されるslide-in paneで次のインスタンスフィールドに入力します。
 - [Select Destination]: インスタンス名、説明、検索ソース、宛先ドメイン、宛先 URL、ユーザ名、およ びパスワードを入力します。[Next]をクリックする前に、[Check connectivity]をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。
 - [Select Inventory Data Fields]: 同期するインベントリデータフィールドを選択し、データフィールドが 属性であるか参照であるかを選択します。
 - [Update Transforms]: デバイスファミリに対して CI クラスを承認または更新します。
 - [Set Source Identifier and Operational Limit]: 検索ソースと上限を設定します。

図 4: [CMDB Synchronization Settings] インスタンス

■ Cisco DNA Center		Add Instance > CMDB Synchronization Settings	\times
Bundles Configurations			
Configurations		Select Destination	
Set global settings or across multiple bund	dles for a custom platform experi	Instance Name *	*
Event Settings	General Settings	Description	
General Settings	√ Filter	Destination Type *	
	Name 🔺		
	> CMDB Synchronization Settin	Destination Domain *	
	Destination to receive events	Destination Uri *	
	ServiceNow Access Settings	Username *	
		Password *	
		Check connectivity	Ŧ
		C Exit	

- **ステップ7** (オプション) [Destination to receive events] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] を クリックし、slide-in paneで次のインスタンスフィールドに入力します。
 - [Instance Name]: インスタンスの名前。
 - [Description]: インスタンスの説明。
 - [Destination to Receive Events]: [Event Management] または [REST API Endpoint] を選択します。

[Event Management] は、ServiceNow で提供されるイベント管理プラグインを使用する場合に選択する オプションです。Cisco DNA Center と ServiceNow の統合の詳細については、このリリースの『*Cisco* DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

図 5: [Destination to receive event] インスタンス

■ Cisco DNA Center		Add Instance > Destination to receive events	
Manage Bundles Configurations		INFORMATION Instance Name *	*
Configurations Set global settings or across multiple bundles	for a custom platform experience.	Description	
Event Settings	General Settings	DESTINATION TO RECEIVE EVENTS Destination to receive events *	
General Settings			
	Name * Destinution to receive events (v1) Rest Endpoint for Publishing Even		÷
	ServiceNow Access Settings (v1) Set Operational Limit and Source ServiceNow (v1)	Cancel	

- **ステップ8** (オプション) [ServiceNow Access Settings] インスタンスを追加するには、[Actions] 列で [Add Instance] を クリックし、slide-in paneで次のインスタンスフィールドに入力します。
 - [Instance Name]: インスタンスの名前。
 - [Description]: インスタンスの説明。
 - [Host name (ServiceNow)]: ServiceNow のホスト名。
 - [Username]: ServiceNowのアクセスに使用するユーザ名。
 - [Password]: ServiceNowのアクセスに使用するパスワード。

[Add] をクリックする前に、[Check connectivity] をクリックして ServiceNow またはその他の宛先サーバへの接続を確認してください。

図 6: [ServiceNow Access Settings] インスタンス

■ Cisco DNA Center		Add Instance > ServiceNow Access Settings	×
Manage Bundles Configurations		INFORMATION Instance Name *	^
Configurations Set global settings or across multiple bundles	for a custom platform experience.	Description	
Event Settings	General Settings	SERVICENOW ACCESS SETTINGS Host Name * https://servicenow-host-name>	
General Settings	√ Filter	User Name *	
	Name 🔺	 	
	Destination to receive events (v1)	Password * SHOW	
	Rest Endpoint for Publishing Even	Check connectivity	÷
	ServiceNow Access Settings (v1)	Cancel Add	
	Set Operational Limit and Source ServiceNow (v1)		

ステップ9 [Add] をクリックしてインスタンスの追加を保存します。

インスタンスへの追加は即座に実行されます。

電子メールの宛先の設定

Cisco DNA Center では、イベントとレポートの両方の電子メール通知をサポートしています。

Cisco DNA Center GUI を使用してイベントまたはレポートの電子メールの宛先を設定するには、次の手順を実行します。

⁽注) 電子メールは Cisco DNA Center から SMTP プロトコルを使用して送信されます。Cisco DNA Center の電子メールイベント通知では、クリアテキストの SMTP のみがサポートされます。 SSL/TLS のサポートを必要とする電子メールサーバを使用している場合は、電子メールイベン ト通知を受信できません。

図 7:[Email Configuration] タブ

E Cisco DNA Center	System - Setti	ings	Q (0	4
EQ. Search Settings	Settings / External Services				
Network Resync Interval	Destinations				
SFTP	Configure the various types of destinations to deliver the events from Cisco DNA Center				
SNMP					
Events and Subscriptions \sim	Webbook Email				
Event Catalog					Т.
External Services 🗸 🗸	Configure settings to send out emails from Cisco DNA Center				
Authentication and Policy Serv	Primary SMTP Server				
Authentication Tokens					
CMX Servers	Hostname/IP*				
Destinations	Primary SMTP Server Address				
Integrity Verification	Port"				
IP Address Manager	Primary SMTP Server Port				
Stealthwatch	Username				
vManage	Username for Authenticating Primary SMTP Server				
System Configuration $~~\lor~$	Daseword				
Debugging Logs	Password for Authenticating Primary SMTP Server				
High Availability					
Integration Settings	Secondary SMTP Server (optional)				
Login Message					
Proxy Config	Hostname/IP				
System Health Notifications	Secondary SMTP Server Address				
Terms and Conditions \sim	Dort				
Telemetry Collection					

始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『*Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide*』を参照してください。

この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラットフォーム向け ロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。

(¢

- 重要 電子メールに正しい Cisco DNA Center ハイパーリンクを含めるには、[Integration Settings] ウィ ンドウで Cisco DNA Center の IP アドレスまたはホスト名を入力します。GUI を使用してこの 情報を入力するには、[Menu] アイコン (=) > [System] > [Settings] > [System Configuration] > [Integration Settings] の順にクリックします。
- **ステップ1** [System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順に選択します。Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (三) をクリックして選択します。
- ステップ2 [SMTP Server Configuration] フィールドを設定します。オプションには、次のものが含まれます。

• [Primary SMTP Server (Required)] :

- [Hostname/IP address]: プライマリ SMTP サーバのホスト名または IP アドレス。
- [Port number]: サーバのポート番号。
- [Username]: サーバのアクセスに必要なユーザ名。

- [Password]: サーバのアクセスに必要なパスワード。
- [Confirm Password]: サーバにアクセスするためのパスワードを再入力します。
- ステップ3 (オプション) [Secondary SMTP Server Configuration] フィールドを設定します。オプションには、次のものが含まれます。
 - [Hostname/IP address]: セカンダリ SMTP サーバのホスト名または IP アドレス。
 - [Port number]: サーバのポート番号。
 - [Username]: サーバのアクセスに必要なユーザ名。
 - [Password]: サーバのアクセスに必要なパスワード。
 - [Confirm Password]: サーバにアクセスするためのパスワードを再入力します。
- ステップ4 [Senders and Receivers] でテスト電子メールのフィールドを設定します。オプションには、次のものが含ま れます。
 - [Senders and Receivers] :
 - [From]: テスト電子メールの送信者。
 - •[To]: テスト電子メールの受信者。
 - [Subject]: テスト電子メールの件名行のテキスト(最大 200 文字)を入力します。
- **ステップ5** [Test] をクリックすると、電子メール設定をテストできます。

[Test]ボタンをクリックすると、設定されたパラメータを使用してテスト電子メールが送信されます(プラ イマリおよびセカンダリの両方の SMTP サーバの設定について、「DNA Center SMTP configuration test e-mail」という件名で送信されます)。テスト電子メールの接続の結果に応じて、成功(設定の確認)また は失敗のメッセージが表示されます。

ステップ6 [Save]をクリックして、設定を保存します。

設定をキャンセルするには、[Cancel] をクリックします。

次のタスク

イベントまたはレポートの電子メールの宛先を設定します。電子メールの宛先を使用してイベ ントまたはレポートを設定する手順については、イベントの使用および最初のレポートの実行 を参照してください。

ウェブフックの宛先の設定

Cisco DNA Center では、イベントとレポートの両方の宛先としてウェブフックをサポートして います。

Cisco DNA Center GUI を使用してイベントまたはレポートのウェブフックの宛先を設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『*Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide*』を参照してください。

この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラットフォーム向け ロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。

- **ステップ1** [System]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (三) をクリックして選択します。 > [Settings] > [External Services] > [Destination] > [Webhook] の順に選択します。
- ステップ2 [Webhook] タブを確認します。

図 8	B : [Wel	bhoo	k]	タ	ブ	
-----	--------------	-----	------	----	---	---	--

E Cisco DNA Center		System -	System Administration - Settings		Q (0) 🗷
EQ. Search Settings	Settings / External Services				
Device EULA Acceptance	Destinations				
Network Resync Interval	Configure the various types of o	destinations to deliver the events from Cisc	o DNA Center		
SFTP	Mahhaak Email Su	a la construcción de la cons			
SNMP	Webhook Email Sys	siog			
Events and Subscriptions \checkmark	Configure the REST Endpoint to	receive Audit logs and Events from Cisco I	DNA Center		
Event Catalog					
External Services \lor					• Add
Authentication and Policy Serv	√ Filter				EQ Find
Authentication Tokens	Name 🔺	Description	App.table.column.url	Method	
CMX Servers	demo		https://webbook.site/f304d295-Re8f-4/87-8d5-d838558359b9	POST	Edit
Destinations			mps.) Houroussiano-outpo cost Hor cons doublooded		Lon .
Integrity Verification	Dnacaap-runtime proxy update	Dnacaap-runtime proxy update	http://dnacaap-runtime.dnacaap.svc.cluster.local:8095/dnacaap/management/maglev-config-update	POST	Edit
IP Address Manager	my own webhook	lorem ipsum	https://10.20.21.121	POST	Edit
vManano	temp-rest-ep	temp-rest-ep-desc	https://wehbook.cisco.com	POST	Edit
System Configuration	webhook-ep-before-upgrade	webhook-ep-before-upgrade	https://webhook.site/764da05a-40a3-4095-a651-09e01b68374c	POST	Edit
Debugging Logs					
High Availability					
Integration Settings					
Login Message					
Proxy Config					
System Health Notifications	5 Records				1 - 5

次のフィールドが表示されます。

- [Name]: ウェブフックの名前。
- [Description]: ウェブフックの説明(ユーザが指定)。

- [URL]: ウェブフックの URL (コールバック URL)。
- [Method]: ウェブフックの REST API メソッド (POST)。
- [Edit]:設定済みのウェブフックを編集するためのフィールドを開くリンク。ウェブフック設定を編集 したら、[Update] をクリックして変更を保存します。
- ステップ3 [Add] リンク/アイコンをクリックしてウェブフックを設定します。

[Add Webhook] スライドインペインが開きます。

ステップ4 [Add Webhook] スライドインペインのフィールドに値を入力してウェブフックを設定します。

🗵 9: [Add Webhook]

■ Cisco DNA Center		Syste	m · System Administration · Settings	Add Webhook	×
EQ Search Settings	Settings / External Services				
Device EULA Acceptance	Destinations			Name*	
Network Resync Interval	Configure the various types of	destinations to deliver the events from (Cisco DNA Center		
SFTP				Description	
SNMP	Webhook Email Sy	slog			
Events and Subscriptions \sim	Configure the REST Endpoint to	receive Audit logs and Events from Ci	sco DNA Center	Url*	
Event Catalog					
External Services 🗸 🗸				Trust Certificate	
Authentication and Policy Serv	√ Filter				
Authentication Tokens	Name e	Description	Ano table column ut	POST V	
CMX Servers		Description			
Destinations	demo		https://webhook.site/f304d295-8e8f-4f87-8df5-d838558359b9	Authentication	
Integrity Verification	Dnacaap-runtime proxy update	Dnacaap-runtime proxy update	http://dnacaap-runtime.dnacaap.svc.cluster.local:8095/dnacaap/mana	🔿 basic 🔿 Token 💿 no Auth	
IP Address Manager	my own webhook	lorem ipsum	https://10.20.21.121	Headers	
Stealthwatch	temp-rest-ep	temp-rest-ep-desc	https://wehbook.cisco.com	🖨 Add	
vManage	webbook-en-before-upgrade	webbook-en-before-upgrade	https://webbook.site/764da05a-40x3-4095-a651-09e01b68324c	-	
System Configuration V	Hebriot of barre apgrade				
High Availability					
Integration Settings					Court
Login Message					Save
System Health Notifications	5 Records				

- [Name]: ウェブフックの名前。
- [Description]: ウェブフックの説明。
- •[URL]: ウェブフックの URL アドレス (コールバック URL)。
- ステップ5 ウェブフックの URL に信頼できる証明書が関連付けられているかどうかを選択します。

ウェブフックの設定に応じて、[Trust Certificate] フィールドで [Yes] または [No] をクリックします。

ステップ6 ウェブフックの URL に関連付けられている認証タイプを選択します。

ウェブフックの設定に応じて、[Authentication] フィールドで次のいずれかをクリックします。

• [Basic]: クライアントが HTTP 要求を送信することで認証を行います。クライアントは、「Basic」と いう単語の後にスペースで区切って「username:password」の形式の base64 でエンコードされた文字列 を入力した認証ヘッダーを含む HTTP 要求を送信します。GUIで[Basic]を選択した場合、下の[Header Key] フィールドに「Authorization」という値が入力されます。 • [Token]: サーバから提供されたセキュリティトークンを使用してユーザが認証されます。[Token]を 選択すると、下の[Header Key] フィールドに [X-Auth-Token] の値が入力されます。

• [No Authentication]: 認証が不要になります。

ステップ7 [Headers] フィールドで、[Header Name] と [Header Value] の値を入力します。

[Add] をクリックして、ヘッダーの名前と値を追加します。

(注) [Headers] フィールドは、上記の [Authentication] の選択に応じて自動的に入力される場合があります。

ステップ8 [Save] をクリックして、ウェブフックの宛先の設定を保存します。

次のタスク

イベントまたはレポートのウェブフックの宛先を設定します。ウェブフックの宛先を使用して イベントまたはレポートを設定する手順については、イベントの使用および最初のレポートの 実行を参照してください。

Syslog サーバの宛先の設定

Cisco DNA Center は、イベント通知に関して Syslog サーバの宛先をサポートしています。

Cisco DNA Center の GUI を使用してイベント通知に関する Syslog サーバの宛先を設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 2.1.1 のインストールが完了していることを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『*Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide*』を参照してください。

この手順で説明するタスクを実行するには、適切な権限が必要になります。Cisco DNA Center プラットフォームのロールベース アクセス コントロールについては、プラットフォーム向け ロールベース アクセス コントロールのサポート を参照してください。

- ステップ1 [System]>[Settings]>[External Services]>[Destinations]>[Syslog] の順に選択します。Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (=) をクリックして選択します。
- ステップ2 [Syslog] タブを確認します。

図 10:[Syslog]タブ

E Cisco DNA Center	System - Settings	Q 🕐 🖉
EQ. Search Settings	Settings / External Services	
Cisco Accounts Cisco.com Credentials PnP Connect Smart Account	Destinations Configure various types of destinations to deliver event notifications from Cisco DNA Center Webhook Email System	
Smart License Registration SSM Connection Mode	Configure Syslog Server in order to forward the Audit Logs and Event notifications	
Device Settings Device Controllability Device CULA Acceptance File Servers Network Resync Interval SFTP SNMP External Services Authentication and Policy Serv	Hostname/IP* Port* 514 Systog Server Address Systog Server Port Cancel Test Sove	
Authentication Tokens		
Destinations DNA Spaces/CMX Servers Integrity Verification IP Address Manager Machine Reasoning Knowledge Stealthwatch		

次のフィールドが表示されます。

• [Hostname]: Syslog サーバのホスト名。

• [Port]: Syslog サーバのポート番号。

- ステップ3 [Syslog Server Address] フィールドにホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ4 [Syslog Server Port] フィールドにポート番号を入力します。
- **ステップ5** (任意) [Test] をクリックして設定をテストします。

(注) 設定がテストに合格した場合は、検証メッセージが表示されます。

ステップ6 [Save] をクリックして Syslog サーバの宛先の設定を保存します。 設定をキャンセルする必要がある場合は、[Cancel] をクリックします。

次のタスク

イベント通知に関する Syslog サーバの宛先を設定します。Syslog サーバの宛先を使用してイベント通知を設定する手順については、イベントの使用を参照してください。